

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	10	05	高津区地域連携スポーツ事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671700		まちづくり推進部地域振興課		永田	64352	

事業の概要

事業の概要		地域のスポーツ関係団体と連携したスポーツイベントを開催することにより、気軽にスポーツを体験できる場や地域住民同士の交流機会を提供する。 障害者との交流の機会や理解を深める場として障害者スポーツの体験イベントを実施する。							
実施期間		事業開始年度 平成24年度		事業終了年度 —		予算中事業		地域コミュニティ活性化推進事業	
地域の課題と現状		希薄となった地域コミュニティの活性化や世代間交流を図る取組として、地域におけるスポーツ参加機会の拡充を図る必要がある。また、地域の中で障害に対する理解が浸透していない現状から、かわさきパラムーブメントに向けた取組として、障害の有無にかかわらずスポーツを通じた交流を図る必要がある。							
予決算 (単位:千円)	年度 事業費 財源内訳 国庫支出金 市債 その他特財 一般財源	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		996	996	1,713	1,580	1,857	261		
		996	996	1,713	1,580	1,857	261		

計画 (Plan)

事業の目的	地域のスポーツ関係団体等と連携したイベントを実施することにより、スポーツを通じた地域コミュニティの活性化や世代間交流を図るとともに、地域におけるスポーツへの参加機会の拡充を図る。 障害の有無にかかわらず障害者スポーツを体験することで相互の理解を深め、かわさきパラムーブメントの啓発を図る。
今年度の事業の取組内容	ファミリースポーツ緑日、障害者スポーツ体験イベントの実施、地域で活動するダンスチーム等を対象とした発表イベント。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	4	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	(1)たかつde笑顔ファミリースポーツ緑日 令和2年11月下旬【コロナの影響により中止】 (2)スポーツインクルージョン緑日(障害者スポーツ体験イベント) 令和2年2月20日【コロナの影響により中止】 (3)ダンス!ダンス!たかつ2021(ダンスイベント)を開催 オンライン動画配信による実施							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1 活動指標	スポーツイベント実施回数	目標	5	6	3		回
			実績	5	6	1		
	2 成果指標	スポーツイベント参加人数	目標	1,500	2,000	2,000		人
			実績	2,700	3,000	0		
3		目標					回	
		実績						
4		目標						
		実績						

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	地域包括ケアシステムや障害者差別解消法の施行により、障害の有無に関わらず、誰もがお互いを認め合い交流できる場の提供が必要となっており、また、東京オリンピックパラリンピック控え人々がスポーツに対する機運が高まっている。しかし、新型コロナウイルス感染拡大によるイベント自粛の長期化の影響も懸念される。		
事業の見直し・改善内容	実施 (直近) <input checked="" type="checkbox"/> 元年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(令和 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	かわさきパラムーブメントの取り組みとして、平成30年度から新たに障害者スポーツ体験イベントを実施した。 令和元年度から、区内でダンスを行う団体相互が認め合い、混じり合う機会を創出するとともに、ダンスの聖地としてさらなる認知度の向上を図り、地域コミュニティの活性化を図ることを目的としたダンスイベント事業を開催した。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	東京オリンピック・パラリンピックの開催やかわさきパラムーブメントの推進により、スポーツに対する気運が高まる中で、心のバリアフリーを目指した事業への関心やニーズは高まっており継続的な実施が必要である。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	b
	評価の理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、スポーツイベントは中止(実施した1回はオンライン動画配信形式での実施)となった。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	各委託先との協議を行い、役割分担の見直しや事業の効率化などについて改善の可能性がある。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	さらなる多世代交流、かわさきパラムーブメントの推進を目指し、障害者スポーツ体験イベントを通じて障害者の活動に対する理解促進を図るとともに、ダンスイベントを開催し、地域の活性化と参加者同士の交流につながるよう機会を創出する。

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	10	10	親子運動会開催事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671700		まちづくり推進部地域振興課		大北	64351	

事業の概要									
事業の概要		10月の第3日曜日に高津区内の各町内会・自治会の老若男女を主な対象とし、高津地区と橘地区で運動会を実施する。参加者数は両地区を合わせて7,000人で、リレーやムカデ競争などの町会対抗競技の他、当日参加できる競技も多数用意されている。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域コミュニティ活性化推進事業			
		昭和41年度	—						
地域の課題と現状		大型マンションの建設や都市化の進行に伴い、地縁意識が希薄になっている中、地域コミュニティ活性化に向けて、コミュニティ形成の場を提供することが求められている。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,600	1,600	1,600	989	1,600	0		
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特材 一般財源	1,600	1,600	1,600	989	1,600	0		

計画 (Plan)	
事業の目的	様々な団体の連携を通じて、地域交流の促進を図る。
今年度の事業の取組内容	実行委員会形式をとり、委員会は高津地区連合町内会、橘地区連合自治会を中心に、青少年指導員会、スポーツ推進委員会など関係団体で構成する。年に数回、実行委員会を開催し、その他に団体ごとに会議を開催する。様々な団体との連携による円滑な事業実施を図る。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		4	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		新型コロナウイルスの影響により、両地区とも運動会開催を中止とした。実行委員会による会議についても中止を正式に決めるために実施したものに留まり、取組みに対する達成度は目標を下回ったと考える。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	高津地区での親子運動会参加者	目標	4,000	4,000	4,000		人
				実績	4,000	中止	中止		
	2	活動指標	橘地区での親子運動会参加者	目標	3,000	3,000	3,000		人
				実績	3,000	中止	中止		
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		大型マンションの建設や都市化の進行に伴い、地縁意識が希薄になっている中、今後のさらなる地域コミュニティ活性化に向けて、より多くの区民の参加を促すための周知方法の検討など創意工夫が必要となる。また新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえて運営方法等の見直しが必要となる。	
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近)平成 26 年度 □ 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		年齢にかかわらず参加できる競技(防災リレー)を新設したことにより、町内(自治)会対抗競技への参加団体の増加を図った。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	災害時等においては、各町会同士のつながりが重要性は増している一方で、地縁意識が希薄になってきていることから、事業のニーズは高いと考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	数値として高津地区・橘地区ともに数千人規模の参加者を維持していることから一定の成果があるものと考えられる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	委託先の実行委員会と協議を行い、効率的な事業実施に向けた改善の余地がある。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
令和3年度は10月17日(日)の開催を予定している。地域コミュニティの活性化につながるよう実行委員会等とともに検討を行う。		

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	10	15	地域コミュニティ施策推進事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671700		まちづくり推進部地域振興課		飯村	内線64351	

事業の概要

事業の概要		町内会・自治会の役割や活動、地域との関わりについて理解を深め、地域社会への関心度の向上、町内会・自治会の加入促進、担い手の育成、効果的な運営等の活動の充実に取り組み、地域コミュニティ全体の活性化を図ります。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業			
		平成20年度		—		地域コミュニティ活性化事業費			
地域の課題と現状		住民ニーズの多様化、地域コミュニティの希薄化の中、地域社会への関心は低下し、地域社会の基礎組織となる町内会・自治会においては、役員の高齢化、後継者不足、加入率低下などの課題があります。地域社会への関心を再び高め、地域コミュニティを活性化することが求められています。							
予算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	593	322	593	396	534	231		
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	593	322	593	396	534	231		

計画 (Plan)

事業の目的	町内会・自治会の活動や地域社会について、広く周知し、地域活動の関心を高め、地域社会への理解促進、未加入者に対する加入促進、担い手の育成、活動の充実等に取り組み、地域コミュニティ全体の活性化を図ります。
今年度の事業の取組内容	町内会・自治会や地域社会の役割や活動について、広く市民に周知し、興味や関心を高めてもらうよう紹介物の掲出、広報冊子等の配布などの周知に取り組みます。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	町内会・自治会の役割等を伝えるとともに、町内会・自治会活動への興味、関心を高めるような広報パネルを区役所廊下へ掲示した。また住民異動繁忙期に区役所ホール内を中心に自治会加入啓発広報冊子、啓発物を来庁者へ配布した。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	
	1	活動指標 イベント等における周知を図る広報チラシの配布や掲示物の設置等の実施回数	目標	5	5	5		回
			実績	5	5	5		
	2		目標					
			実績					
3		目標						
		実績						
4		目標						
		実績						

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	町内会・自治会は役員の高齢化、後継者不足、加入率の低下、活動参加率の低下等、さまざまな課題を抱えている中、災害時に町内会・自治会活動を通じた支援、つながりが果たす役割は非常に大きいことから、加入促進の必要性が求められている。その一方、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため町内会活動のさらなる停滞が懸念されている。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
	具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	住民意識の多様化、地域における交流機会の減少が課題となっている中、地域への関心を高めるとともに、地域コミュニティ活性化の推進が継続して求められている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	来庁者が多い時期に、町内会・自治会の役割を紹介する展示や冊子配布等を行い、町内会等未加入者を中心に普及啓発活動を効果的に実施できた。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	社会情勢の変化を踏まえながら、より効果的な地域コミュニティの活性化につながるような事業の実施に向け、改善の可能性がある。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	災害時や社会情勢の変化に対応するためにも、地域コミュニティの活性化の必要性は高く、地域コミュニティの活性化を阻む要因や町内会、自治会活動の課題の解消につながるよう、さらに見直し・改善のうえ本事業を継続する。

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	10	20	橋ふるさと祭り子どもイベント開催事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			673900		区民サービス部橋出張所		持木	74111	

事業の概要										
事業の概要		ふるさと祭り開催にあたり、地区内小学生によるポスターコンクールを実施。ふるさと祭りを地域全体で盛り上げていく事と広報の意味から、優秀作品にてポスターを制作し、市バスや東急バス車内をはじめ区内公共施設等に掲出する。また、ふるさと祭り当日は、地域の子どもたちが様々な催し物を通じて触れ合う場を設定し、橋地区の魅力や地域特性を知ることができる内容のイベントを実施する。なお、橋ふるさと祭りは、橋地区連合自治会をはじめ、地域の諸団体が構成された実行委員会により企画・運営している。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域コミュニティ活性化推進事業費				
		昭和55年度	—							
地域の課題と現状		当地区は、近年マンションや新興住宅の建設が進み、地元住民と新規住民が接する場が少なくコミュニティの希薄化が課題となっている。本事業は、長い伝統と歴史に育まれて地域に定着している事業でもあることから、今後も継続して実施することで、地域の親睦を図るとともに地域コミュニティの形成を図る。特に地域の子どもたちに作品発表の場を提供することにより祭りに参加してもらうことでふるさと意識の醸成を図り、地域の和を深め、将来にわたって地域の活性化を図っていく。								
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	財源内訳	事業費	1,320	1,320	1,320	1,320	1,320	0		
		国庫支出金								
市債										
	その他特材									
	一般財源	1,320	1,320	1,320	1,320	1,320	0			

計画 (Plan)	
事業の目的	子どもを中心とした地域交流の活性化と橋地区の魅力と地域特性を知る機会を提供すること。
今年度の事業の取組内容	・事前のポスターコンクールの実施と応募作品を活用した橋ふるさと祭りの広報 ・移動動物園やゲームコーナー、工作など子ども向けイベントの企画・運営 ・幼児、小学生を対象とした輪投げや各種工作遊びを行う子ども広場の運営に、地元中高生のボランティア参加を依頼

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		5	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		8月2日に実施の予定だったが、新型コロナウイルス拡散防止対策のため4月に中止と判断した。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	事前のポスターコンクールの実施と応募作品を活用した橋ふるさと祭りのポスターによる広報	目標	650	650	650		枚
				実績	650	650	中止		
	2	成果指標	移動動物園やゲームコーナー、工作など子ども向けイベントの実施(来場者数)	目標	2,000	2,000	2,000		人
				実績	2,000	2,000	中止		
3	成果指標	幼児、小学生を対象とした輪投げや各種工作遊びを行う子ども広場を運営する地元中高生ボランティア	目標	10	10	10		人	
			実績	15	15	中止			
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		多くの方に参加していただくイベントのため、今回の新型コロナウイルス感染拡大の危険性があるような事態がある場合、開催が不可能である。状況に応じた対応が必要である。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		今後も委託団体及び関係団体と密に会議や連絡調整を行いながら、費用対効果や住民ニーズを十分に考慮した企画・運営、及び事務改善を進めていく。	
評価項目			評価
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている
	評価の理由		a
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない
	評価の理由		a
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。		a. 可能性はない b. 可能性はある
	評価の理由		b
委託団体及び関係団体と密に会議や連絡調整を行いながら、費用対効果や住民ニーズを十分に考慮した企画・運営、及び事務改善を進めていく。			

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	住民ニーズに適応した事業展開を目指すと共に、更に効率的・効果的な運営も視点に入れ継続して実施していく。橋地区の特色をより活かせる事業を行うことで、「地域の活性化」、「ふるさと意識の醸成」を進める。また、企画のマンネリ化を防ぐため、橋出張所が事務局を務め開催している多くのイベント等でアイデアを募集したり子供に魅力的なコンテンツを子供達と考える場を設けるなど、より一層の工夫をしていきたい。

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	10	25	高津区まちづくり推進事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671700		まちづくり推進部地域振興課		川田	64355	

事業の概要										
事業の概要		まちづくりの推進を図るため、次の事柄を推進する。 1. 市民活動支援ルームの運営と登録団体の交流 2. 区内の市民活動の情報誌であるキラリたかつニュースの発行、市民活動支援のホームページの運営管理 3. 高津学の開催 4. 市民活動見本市の開催 5. 市民参加型のまちづくり実践活動の推進と地域ごとのまちづくり推進組織の生み育て								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域コミュニティ活性化事業費				
		平成11年度	—							
地域の課題と現状		地域社会がかかえるさまざまな課題を市民自ら解決していこうとする活動が活発化する中で、市民の主体的な地域まちづくり活動への支援など区役所が果たすべき役割が高まっている。「協働型事業のルール」に基づき、地域の課題解決に向けた協働型事業を推進するとともに、区民の主体的な地域のまちづくり活動に係る各種支援策への橋渡しの幅広い支援を行うことが求められている。また、それらと区事業との連携も見出し、地域の課題解決を推進していく必要がある。								
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	財源内訳	事業費	3,856	3,124	3,649	2,850	3,371	546		
		国庫支出金 市債 その他特財 一般財源								
		3,856	3,124	3,649	2,850	3,371	546			

計画 (Plan)	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ●区内の市民活動・まちづくり活動の活性化 ●活動に参加する区民の輪を広げ、参加と協働によるまちづくりの推進 ●広範なまちづくりの理念を着実に実現に向けていくことを支援
今年度の事業の取組内容	市民活動支援ルーム運営(通年) 交流会(10月・2月) キラリたかつニュース発行(5月・8月・11月・2月) ホームページ運営管理(通年) 高津学開催(6月・7月・9月・11月・1月) 市民活動見本市実施(6月)

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		4		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等		<ul style="list-style-type: none"> ●市民活動支援ルーム運営(通年) 交流会(10月・2月(書面会議)) ●キラリたかつニュース発行 →新型コロナウイルスの影響により中止 ●ホームページ運営管理(通年) ●高津学開催→新型コロナウイルスの影響により中止 ●市民活動見本市実施(6月)→新型コロナウイルスの影響により中止 								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1 活動指標	支援活動ルーム登録団体交流会				目標 2	2	2		回
						実績 2	2	2		
	2 活動指標	広報誌の発行				目標 4	4	2		回
						実績 3	3	0		
3 活動指標	関連団体等との協働イベント開催回数				目標 4	4	4		回	
					実績 7	7	0			
4					目標					
					実績					

評価 (Check)	
事業を取り巻く社会環境の変化	地域社会がかかえるさまざまな課題を市民自ら解決していこうとする活動が活性化中、市民と区役所の協働によるまちづくり活動は重要である。
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	現在検討が行われている「コミュニティの新たな仕組み」に応じて事業の見直し等を行う予定

評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域社会がかかえるさまざまな課題を市民自ら解決していこうとする活動が活性化中、市民と区役所の協働によるまちづくり活動のニーズはある。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	旧平瀬川再生事業など、行政との協働による取組が進んでいる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	委託団体と協議を行い、事務分担のすみ分けの検討を進めていく。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 高津区まちづくり協議会の主目的である市民活動団体への中間支援を継続しながら、現在検討が行われている「コミュニティの新たな仕組み」の進捗に応じて事業の見直しを進めていく。

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	10	30	高津区多文化共生推進事業			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671750		生涯学習支援課		水野	814-7603	

事業の概要									
事業の概要		ともに地域に暮らす外国人市民と交流し、暮らしや文化等多様な体験活動を共有する機会を提供することで相互理解を進め、認め合い、支え合いながら共に暮らすことのできる多文化共生社会の推進を目指す。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域コミュニティ活性化事業			
		平成23年度	—						
地域の課題と現状		高津区に居住する外国人市民は増加傾向にあり、国籍別では中国籍、韓国または朝鮮籍、フィリピン籍が約7割を占めるほか、東南アジア地域、ヨーロッパ、北米籍等多様な国籍の外国人市民が暮らしており、定住する外国人も増加している。今後更なる国際化の進展が想定される中で、日本人を含め、民族や文化等の異なる多様な住民がともに暮らし支え合う地域づくりが求められている。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
財源 内訳	事業費	258	257	358	358	358	169		
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	258	257	358	358	358	169		

計画 (Plan)	
事業の目的	外国人市民と日本人市民が支え合いながら共に暮らす地域づくりを推進する。
今年度の事業の取組内容	多文化防災訓練、地域めぐり、料理・文化講習、子育て交流広場、多文化共生講演会を実施。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		4		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等		料理・文化講習会 12～3月に予定していたが新型コロナウイルスの影響により中止 講演会:1/16(土)会場 高津市民館大会議室 参加46人 子育て広場:9月16日(水)、10月21日(水)、11月18日(水)、12月16日(水) 会場 高津市民館児童室 参加 延べ0組 多文化子ども塾:10月24日(土)、11月7日(土)、21日(土)、12月5日(土)、19日(土) 参加 延べ16人								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1 成果指標	体験活動事業の実施(参加者)	目標	60	60	60				人
			実績	69	57	0				
	2 成果指標	体験活動事業の実施(満足度)	目標	80	80	60				%
			実績	87	85	0				
3 成果指標	講演会の実施(参加者)	目標	30	30	30				人	
		実績	104	97	46					
4 成果指標	子育て交流広場(参加者)	目標	60	60	60				組	
		実績	47	53	0					

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		高津区内では、区内に在る工場での就労や日本人市民との婚姻等により定住する外国人市民が増加傾向であり、その国籍も多様化していることから、多文化共生のまちづくりに向けた取り組みの継続が必要と考える。	
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 1 年度 □ 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		外国につながる児童に向けた学習支援「多文化子ども塾」を開始。	
評価項目			評価
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	
	評価の理由	外国人市民は増加傾向であるため事業ニーズは高いと考える。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	
	評価の理由	参加者数などを見ると一定の効果があり、継続実施が必要と考える。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	
	評価の理由	実行委員会と協働で事業を実施する中で、進行等に改善の余地があるため、検討していく。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I
		多様な住民がともにコミュニティの一員として交流し、支え合う地域づくりが求められることから、ぬ日常生活に即した多様な体験や交流の機会を通じ、相互理解を進める事業を実施していく。

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	10	35	ものづくりのまち推進事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671650		まちづくり推進部企画課		大泉	64123	

事業の概要									
事業の概要		区の一つの特徴であるものづくり資源が集積する住工混在地域において、地元工業会等により結成された「高津ものまちづくり会」との協働でイベントを開催すること等により住民と工場との相互理解を深めるとともに、区内ものづくり資源の魅力や可能性を地域内外に発信する。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域コミュニティ活性化推進事業費			
		平成25年度	—						
地域の課題と現状		高津区には最先端産業をものづくりの面から支える中小の加工組立型企業が集積し、研究開発型企業の育成・交流を目的とした「かながわサイエンスパーク」もあるなど、ものづくり資源の集積が区の一つの特徴となっている。しかし、区内の準工業地域では、工場跡地での戸建ミニ開発が進むなど住工混在状況が複雑化してきており、同地域の町工場は操業環境の確保に不安を抱いている。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	200	200	201	200	179	0		
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	200	200	201	200	179	0		

計画 (Plan)	
事業の目的	(1)町工場と地域住民との交流促進 (2)区内ものづくり資源の魅力や可能性を地域内外に発信
今年度の事業の取組内容	(1)オープンファクトリー等における協力、広報 (2)「高津区ものづくり企業マップ」区内小学校への配布 (3)「住工共生のまち」パンフレットの増刷

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		4		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等		・川崎北工業会のオープンファクトリーはコロナウイルスの影響で中止。下野毛工業協同組合のものづくりイベントについて広報等を実施し、オンラインにて開催(令和2年11月29日)。 ・「高津区ものづくり企業マップ」の区内小学校5年生全生徒への配布。 ・「住工共生のまち」パンフレットは、オープンファクトリー中止等による配布機会の縮小により増刷の必要性がなくなった。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位		
	1	活動指標	オープンファクトリー等の開催協力	目標	2	2	2		回	
				実績	2	2	1			
	2	成果指標	「高津区ものづくり企業マップ」の区内小学校への配布	目標	1	1	1		回	
				実績	1	1	1			
3			目標							
			実績							
4			目標							
			実績							

評価 (Check)				
事業を取り巻く社会環境の変化		区内の準工業地域における住工混在状況はますます進んできている。		
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 27年度 □ 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		各イベントについては今後も各主体が自立的かつ継続的に実施できるよう、経済労働局工業振興課と事業の整理を行い、オープンファクトリー及びものづくりフェアの開催支援については工業振興課の事業として実施し、高津区の事業としてはそれらのイベントへの協力と住工共生に向けた広報に特化して進めることで、委託料を削減した。		
評価項目			評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている		a
	評価の理由	区内の準工業地域における住工混在状況はますます進んできており、事業のニーズは高いと考えられる。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない		a
	評価の理由	継続してイベントを開催することで地域に浸透し、イベント参加者も例年増加傾向にあることから、成果は上がっていると考えられる。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある		b
	評価の理由	各主体及び経済労働局工業振興課と協議を行いながら、より効率的かつ効果的な事業の推進方法を検討していく。		

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
これまでの取組を継続することで町工場と地域住民との交流を深めるとともに、より一層の交流促進に向けた新たな取組についても各主体及び経済労働局工業振興課と協議を行いながら検討することで、事業を見直し・改善のうえ継続していくことが適切であると考えられる。		

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	10	45	かすみ堤保全活用事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671650		まちづくり推進部企画課		大泉	64123	

事業の概要									
事業の概要		地域住民や市議会からの保全の要望を受けて協議を行ってきた国有地である「かすみ堤」が、平成29年2月に河川区域に再編入された。これまでの経緯も踏まえ、市が「かすみ堤」を河川占用した上で地域住民と協働して保全・活用を行うことにより、地域コミュニティの活性化を図る。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域コミュニティ活性化推進事業			
		平成20年度	—						
地域の課題と現状		かすみ堤について、国は河川区域に再編入したが、市に対して占用したうえでの維持管理を求めている。ただし、占用許可を取得した後は市の管理地となるため、安全の確保及び継続的な維持管理対応が必要となる。また、地域の多様な主体と連携することで、コミュニティ活性化につながるような利活用を検討する必要がある。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	996	0	996	656	1,034	970		
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	996	0	996	656	1,034	970		

計画 (Plan)	
事業の目的	市が「かすみ堤」を国から河川占用した上で地域住民と協働して保全・活用することにより、地域コミュニティの活性化を図る。
今年度の事業の取組内容	かすみ堤の占用許可を取得し、庁内関係部局と連携しながら、必要な維持管理を行う。また、地域住民による自主的な管理、利活用に向け国土交通省京浜河川事務所や地元町内会・保存会との調整や検討を行う。

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	河川区域に再編入されたかすみ堤について、国から河川占用許可を取得した。今後、市の管理地として適正に管理していくため、既存樹木の健全性診断を行うとともに利用及び管理に関する要綱を制定した。地元町内会・保存会には、適宜情報提供し維持管理及び利活用について、協働して進めていくことで理解が得られている。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1		目標					
			実績					
	2		目標					
			実績					
3		目標						
		実績						
4		目標						
		実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	高津区市議会議員懇談会からは、利活用に向けた検討を進めることが要望されている。また、平成30年度に策定された「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」では、市民創発による地域づくりに向けて、「公共施設の地域化」等による「まちのひろば」の創出の方向性が示されている。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 1 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施 (年度から)		
	具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	水害等への備えとなる避難場所、さらには地域の憩いの場としての利活用を求める声はむしろ高まっている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	国から河川の占用を取得し、利活用に関する要綱を整備するなど保全活用にに向けた取組は順調に進展している。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	これまでは保全に重きを置いて取組を進めてきたが、占用許可の取得により一部の管理地となったことから、今後は活用に重点を移して、事業を進めていく必要がある。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
現在の活動を継続しつつも、国や地元保存会等、庁内関係部局とも協議を行いながら、効率的な事業推進手法を検討しつつ、継続することが適切であると考えられる。		